



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月1日

上場会社名 株式会社 フジミインコーポレーテッド
 コード番号 5384 URL <http://www.fujimiinc.co.jp>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関 敬史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 鈴木 彰

TEL 052-503-8181

四半期報告書提出予定日 平成24年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	21,002	△12.1	1,131	△56.1	1,180	△54.1	602	△64.7
23年3月期第3四半期	23,882	16.9	2,574	184.9	2,571	144.5	1,708	153.7

(注)包括利益 24年3月期第3四半期 94百万円 (△93.0%) 23年3月期第3四半期 1,337百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	21.83	—
23年3月期第3四半期	59.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	44,783	39,197	86.9
23年3月期	46,734	40,802	86.7

(参考)自己資本 24年3月期第3四半期 38,929百万円 23年3月期 40,535百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
24年3月期	—	15.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,800	△13.2	650	△76.6	700	△75.2	300	△83.5	10.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) 臺灣福吉米股分有限公司、除外 1社 (社名)

平成23年8月10日に当社100%子会社として設立され、連結の範囲に含めております。詳細は3ページ「(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。社名に使用している「分」は正式には人偏がつきます。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	30,699,500 株	23年3月期	30,699,500 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	3,823,659 株	23年3月期	2,760,146 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	27,600,835 株	23年3月期3Q	28,707,557 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
5. 補足情報	9
設備投資	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く環境は、欧州の債務問題の深刻化や米国景気の緩慢な状況、新興国の景気減速感、日本においては東日本大震災などの影響により全般的に停滞感が強く、先行きについても依然として不透明な状況が続いております。

半導体市場は、一般消費者向けを中心としたパソコン等の最終製品の需要が減速したことに加え、10月に発生したタイ国の大洪水が世界的なIT関連企業の生産活動を阻害したことにより軟調に推移しました。

こうした状況下、当社グループでは一丸となって売上拡大とコスト削減に努めたものの、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高21,002百万円(前年同四半期比12.1%減)、うち製品売上高20,767百万円(前年同四半期比11.8%減)となりました。また、利益面では、営業利益1,131百万円(前年同四半期比56.1%減)、経常利益1,180百万円(前年同四半期比54.1%減)、四半期純利益602百万円(前年同四半期比64.7%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、セグメント別売上高、営業利益はセグメント間取引等調整前の数値であります。

日本につきましては、半導体市場全般の需要減少によりシリコンウェハー向け製品、CMP向け製品及びハードディスク向け製品の販売が減少し、売上高は17,361百万円(前年同四半期比14.2%減)、営業利益は1,511百万円(前年同四半期比50.6%減)となりました。

北米につきましては、売上高は3,998百万円(前年同四半期比3.8%減)となったものの、製品構成の影響などにより営業利益は133百万円(前年同四半期比1.9%増)となりました。

アジアにつきましては、売上高は2,174百万円(前年同四半期比3.9%増)となったものの、製品構成の影響などにより営業利益は137百万円(前年同四半期比3.1%減)となりました。

欧州につきましては、主にCMP向け製品の販売が増加し、売上高は1,412百万円(前年同四半期比6.3%増)となったものの、為替の影響などにより営業利益は99百万円(前年同四半期比9.2%減)となりました。

用途別売上の実績は、次のとおりであります。

当社グループの主力となるシリコンウェハー向け製品につきましては、東日本大震災の影響による需要減少等によりラッピング材の売上高は2,247百万円(前年同四半期比20.1%減)、ポリシング材の売上高は5,540百万円(前年同四半期比4.6%減)となりました。

CMP向け製品につきましては、デバイスメーカーへの出荷が減少し、売上高は5,913百万円(前年同四半期比12.5%減)となりました。

ハードディスク向け製品につきましては、従来型パソコンの低調な出荷状況やタイ国の大洪水の影響などから、売上高は1,396百万円(前年同四半期比36.0%減)となりました。

シリコン切断に使用されるワイヤーソー向け製品につきましては、半導体市場や太陽電池市場の低迷により、売上高は1,004百万円(前年同四半期比22.5%減)となりました。

水晶振動子等の研磨に使われる水晶デバイス向け製品につきましては、最終製品の需要回復の遅れから、売上高は326百万円(前年同四半期比20.7%減)となりました。

サファイヤ基板向け製品につきましては、売上高は345百万円(前年同四半期比0.0%減)となりました。

溶射材につきましては、売上高は865百万円(前年同四半期比3.6%減)となりました。

商品につきましては、売上高は235百万円(前年同四半期比32.4%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ、1,950百万円減少し、44,783百万円となりました。これは主に、たな卸資産が1,025百万円、仮払金などその他の流動資産が1,222百万円それぞれ増加したものの、現金及び預金が3,457百万円減少したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末に比べ、346百万円減少し、5,586百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が437百万円増加したものの、未払法人税等が426百万円、賞与引当金が311百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ、1,604百万円減少し、39,197百万円となりました。これは主に、利益剰余金が294百万円、為替換算調整勘定の借方残が319百万円増加したことや、自己株式を983百万円取得したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

半導体市場の先行きが不透明であること、タイの大洪水の影響が見通せないことから平成23年11月1日の決算短信において通期見通しを据え置いておりましたが、パソコン需要の減速と家電関係の停滞に起因する半導体市況の低迷を背景とした最近の業績動向を踏まえ、平成24年3月期の通期業績予想を以下のとおり修正いたします。

本日付で別途「業績予想に関するお知らせ」を開示しております。

[連結通期業績予想の修正]

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	31,200	1,800	1,900	1,300
今回修正予想 (B)	26,800	650	700	300
増減額 (B - A)	△4,400	△1,150	△1,200	△1,000
増減率 (%)	△14.1	△63.9	△63.2	△76.9
前期(平成23年3月期)実績	30,869	2,777	2,817	1,820

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び子会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第1四半期連結会計期間より、連結子会社4社（FUJIMI CORPORATION, FUJIMI-MICRO TECHNOLOGY SDN. BHD., FUJIMI EUROPE LIMITED, FUJIMI EUROPE GmbH）は決算日を12月31日より3月31日に変更しております。決算期変更に伴う当該子会社の平成23年1月1日から平成23年3月31日までの3ヶ月間の損益は、利益剰余金の増減としております。

なお、各セグメントに係る主要な関係会社の異動は、次のとおりであります。

(日本)

主要な関係会社の異動はありません。

(北米)

主要な関係会社の異動はありません。

(アジア)

平成23年8月10日に当社100%子会社として臺灣福吉米股份有限公司（FUJIMI TAIWAN LIMITED）を設立し、連結の範囲に含めております。なお、当該子会社は当社の特定子会社に該当しております。

(欧州)

主要な関係会社の異動はありません。

この結果、当社グループは、当社及び子会社5社により構成されることとなりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,468	9,010
受取手形及び売掛金	6,820	7,218
有価証券	5,303	5,301
商品及び製品	2,647	3,156
仕掛品	1,033	1,178
原材料及び貯蔵品	1,367	1,739
繰延税金資産	632	244
その他	280	1,503
貸倒引当金	△157	△139
流動資産合計	30,396	29,212
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,963	6,638
その他（純額）	6,955	6,942
有形固定資産合計	13,919	13,581
無形固定資産		
投資その他の資産	305	435
投資有価証券	98	86
繰延税金資産	95	64
その他	1,929	1,411
貸倒引当金	△9	△8
投資その他の資産合計	2,113	1,554
固定資産合計	16,338	15,571
資産合計	46,734	44,783

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,905	3,343
短期借入金	81	58
未払法人税等	476	49
賞与引当金	595	283
役員賞与引当金	—	24
その他	1,655	1,624
流動負債合計	5,714	5,383
固定負債		
長期借入金	61	—
繰延税金負債	8	24
退職給付引当金	120	144
その他	27	33
固定負債合計	217	202
負債合計	5,932	5,586
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	5,069	5,069
利益剰余金	36,069	35,775
自己株式	△3,792	△4,776
株主資本合計	42,100	40,822
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31	23
為替換算調整勘定	△1,597	△1,916
その他の包括利益累計額合計	△1,566	△1,893
新株予約権	61	60
少数株主持分	205	208
純資産合計	40,802	39,197
負債純資産合計	46,734	44,783

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	23,882	21,002
売上原価	16,326	14,772
売上総利益	7,555	6,230
販売費及び一般管理費	4,980	5,099
営業利益	2,574	1,131
営業外収益		
受取利息	42	46
廃棄物処分益	29	30
その他	20	30
営業外収益合計	91	107
営業外費用		
支払利息	10	4
為替差損	68	39
その他	15	12
営業外費用合計	95	57
経常利益	2,571	1,180
特別利益		
固定資産売却益	2	1
投資有価証券売却益	38	1
新株予約権戻入益	1	0
その他	10	—
特別利益合計	53	4
特別損失		
固定資産除却損	7	6
投資有価証券売却損	9	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9	—
特別損失合計	27	6
税金等調整前四半期純利益	2,598	1,178
法人税、住民税及び事業税	602	143
法人税等調整額	274	417
法人税等合計	876	561
少数株主損益調整前四半期純利益	1,721	617
少数株主利益	12	14
四半期純利益	1,708	602

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,721	617
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△64	△8
為替換算調整勘定	△319	△514
その他の包括利益合計	△384	△523
四半期包括利益	1,337	94
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,321	103
少数株主に係る四半期包括利益	15	△9

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	16,885	3,573	2,093	1,329	23,882	—	23,882
(2) セグメント間の 内部売上高	3,358	580	—	—	3,939	(3,939)	—
計	20,244	4,154	2,093	1,329	27,821	(3,939)	23,882
セグメント利益	3,058	131	141	109	3,441	(866)	2,574

(注) 1. セグメント利益の調整額△866百万円は、セグメント間取引消去93百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△839百万円及び棚卸資産の調整額△121百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	14,066	3,349	2,174	1,412	21,002	—	21,002
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,295	649	—	—	3,944	△3,944	—
計	17,361	3,998	2,174	1,412	24,947	△3,944	21,002
セグメント利益	1,511	133	137	99	1,882	△750	1,131

(注) 1. セグメント利益の調整額△750百万円は、セグメント間取引消去77百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△849百万円及び棚卸資産の調整額20百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、第2四半期連結会計期間において、取締役会決議に基づき自己株式を415千株（373百万円）、当第3四半期連結会計期間において、取締役会決議に基づき自己株式を647千株（609百万円）取得いたしました。なお、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は3,823千株（4,776百万円）となっております。

5. 補足情報

当第3四半期連結累計期間に新たに確定した重要な設備の新設計画は次のとおりであります。

会社名 事業所名	所在地	セグメント の名称	設備の内容	投資予定金額		資金調達方法	着手及び完了予定年月	
				総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		着手	完了
臺灣福吉米股份有限公司	台湾	アジア	研磨材製造設備 (第1期分)	1,900	194	自己資金等	平成23年11月	平成24年10月